

「第 96 回 東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2023」及び  
「第 5 回 京都インターナショナル・ギフト・ショー 2024」  
和歌山県ブース装飾等業務委託仕様書

下記のとおり開催される展示商談会「第 96 回 東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2023」（以下「東京ギフト」という。）及び「第 5 回 京都インターナショナル・ギフト・ショー 2024」（以下「京都ギフト」という。）での和歌山県ブース出展に伴う装飾を中心とした下記の業務を行う。

記

## 1. 展示会について

### <東京ギフト>

展示会名 第 96 回 東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2023  
開催期間 令和 5 年 9 月 6 日（水）～9 月 8 日（金）  
搬入日：9 月 5 日（火）  
開催場所 東京ビッグサイト（東京都江東区有明 3 丁目 11-1）  
出展製品 家庭日用品、漆器などのギフト雑貨

### <京都ギフト>

展示会名 第 5 回 京都インターナショナル・ギフト・ショー 2024  
開催期間 令和 6 年 3 月 6 日（水）～3 月 7 日（木）  
搬入日：3 月 5 日（火）  
開催場所 みやこめっせ（京都府京都市左京区岡崎成勝寺町 9-1）  
出展製品 漆器、棕櫚箒などの職人が作成した和雑貨

## 2. 委託業務内容

### （1）概要

- ア 和歌山県ブースの装飾デザイン、設営、施工及び撤去
- イ バイヤー向け出展事業者チラシの作成
- ウ その他和歌山県ブースの企画、設営に必要な業務

### （2）詳細

#### ア 装飾全般

- （ア） 出展事業者の製品を効果的にアピールできる装飾とすること。
- （イ） 高さ、奥行き等の空間を有効活用した装飾とすること。
- （ウ） 出展事業者が出展物を展示しやすく、かつ商談を行いやすいブース装飾を行うこと。
- （エ） わかやま産業振興財団（以下「財団」という。）が指定するブースロゴ『嬉の国わかやま』を使用し、和歌山県ブースであることが一目でわかるよう、装飾を行うこと。
- （オ） 『嬉の国わかやま』＝『買って嬉しい、貰って嬉しい』というコンセプトに沿ったブースイメージとし、工夫を凝らしたインパクトのあるデザインとすること。また、ブースデザイン

と各出展事業者のキャッチコピー看板等がリンクするような統一感を持たせること。なお、共通のブースロゴを使用するが、デザインについては各展示会特性に適した内容にすること。

- (カ) 『嬉の国わかやま』のロゴデータは原則財団が提供するものを使用することとし、提案するブースデザインに合うような加工を可能とする（詳細は別添資料1参照）。なお、データはIllustrator及びPDFデータを提供する。
- (キ) ブース全体の色味については自由提案とするが、各展示会特性に適したカラーを提案すること。なお、企画提案時にその色を選んだ理由を伝えること。
- (ク) ブースデザインについては、東京ギフトは来場者がブース内を回遊できるオープンタイプのブースデザインとすることとし、京都ギフトは自由提案とする。なお、企画提案時にそのデザインとした理由などを伝えること。
- (ケ) 財団ブースを県内企業の案内所と位置付けるため、その役割が一目でわかるよう装飾を工夫すること。

#### イ ブース装飾

##### <東京ギフト>

- (ア) 出展規模 8小間（6m×12mの面積） ※3面開放を想定
- (イ) 出展事業者 10社程度を想定 ※5月末決定予定
- (ウ) 小間配置
  - ・出展事業者が出展物を展示しやすく、かつ商談を行いやすいブース装飾を行うこと。
  - ・ブース内に最低限の規模の共有ストックヤード及び財団受付スペースを設けること。

##### <京都ギフト>

- (ア) 出展規模 **5小間**（6m×6mの面積） ※3面開放を想定
- (イ) 出展事業者 **6社程度** ※10月頃決定予定
- (ウ) 小間配置 ※上記「<東京ギフト>（ウ）小間配置」と同様の内容とする。

#### ウ 運営管理体制

- (ア) 財団及び出展事業者との連絡調整を行った上で、展示会事務局に対して、備品の配置、設営工事及び許可申請書類等の各種申請書類を提出すること。
- (イ) 設営及び展示会開催期間中に運営管理に係る問合せや不測の事態が生じた場合において、速やかに現場に駆けつけ、対応できる体制であること。

#### エ 小間配置及び必要備品

- (ア) 出展事業者が商談をしやすく、かつ来場者が各出展事業者小間に立ち寄りやすい配置とすることとし、閉塞感のないブースとすること。
- (イ) 床面は商談に支障をきたさないようフラットにすること。
- (ウ) 設置する備品については、別添資料2を参照することとし、以下に注意した装飾及び備品等を備えた企画にすること。
  - ・出展事業者の占有面積は均等に配分すること。
  - ・照明は、他ブースと比較して沈み込まないよう明るくすること。なお、出展製品の特徴に合わせて昼白色、電球色を使い分けること。
  - ・別添資料2の備品以外で出展事業者が希望する追加什器については、出展事業者の費用負担により設置し、出展事業者から経費の支払いを受けること。また、追加什器を配置

したうえで、十分な通路を設けること。

- ・パンチカーペットを全面に敷くこと。
- ・コンセント（100V、2 個口）を出展者、財団、バックヤードにそれぞれ設置すること。

（エ）ブース内共用のストックヤードは最低限のサイズとし、荷物棚、机、椅子を備え付けること。

なお、ストックヤード内は打ち合わせ等で使用することがあるため、装飾にかかる備品などは整理整頓しておくこと。

（オ）新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じたブースにすること。なお、具体的な対策として、以下のことを考慮すること。

- ・3密（密閉・密集・密接）を避けるような装飾・配置とすること。
- ・その他、必要な対策については一般社団法人日本展示会協会が公表している「展示業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」を参照すること。

#### オ バイヤー向け出展事業者チラシの作成

（ア）和歌山県ブースの出展事業者を紹介するチラシを作成すること。なお、デザインは事業担当者との打ち合わせにより微修正することがある。

（イ）チラシは、和歌山県ブースと統一感のあるデザインにすること。

（ウ）チラシには以下の内容を記載すること。

- ・出展者情報（事業者名、取扱商品、商品画像、住所、電話番号、ホームページ、二次元バーコード等）
- ・和歌山県ブースの小間番号

（エ）サイズは日本産業規格 A 4 とし、両面 4 色フルカラー印刷とすること。

（オ）200 枚作成し、展示会会期の 1 か月前に財団へ納品すること。

（カ）チラシ内に「このチラシは、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して作成したものです。」と記載すること。

#### カ 費用負担

上記エ（イ）に記載する追加什器に関連する費用以外のすべての装飾、備品、電気代、会期中の小間内清掃・ゴミ処理代及び搬入出等を含む経費の支払を行うこと。

#### キ その他

（ア）受託者は、6 月 21 日（水）に開催予定の出展事業者説明会で使用する運営等に係る資料を作成するとともに、当該説明会に出席の出展事業者に対して説明を行うこと。

（イ）製作物の著作権（著作権法第 27 条及び 28 条に規定する権利を含む。）は、製作物の引渡しをもって財団に譲渡されるものとし、著作権者は、製作物に係る著作者人格権を将来にわたり一切行使しないものとする。なお、財団が製作物のデータの提出を求めた場合は、速やかに提出するものとし、財団は、当該データを自由に再利用できるものとする。

（ウ）受託者は、契約締結時に財団に提出した企画提案書にのっとり業務を実施するとともに、事業担当者と必要な協議（報告を含む。）を行い、その指示に従うこと。

（エ）契約締結後に生じた事由（参加事業者数の変更、装飾工事の設置基準の変更等）により企画提案書の大幅な変更が必要となったときは、受託者は、財団と協議の上、変更後の企画提案書及び見積書を財団に提出すること。

（オ）上記（エ）に基づく企画提案書及び見積書が提出されたときは、財団は、その内容を審

査し、適当と認められるときは変更契約を締結することとする。